

活性化対策について

高僧 弘 議員(清友会)



高僧議員 能越道との里山海道を活かした振興策について、2年後には北陸新幹線金沢開業、能越道七尾インターまでの供用開始。このことから、それらの活用策について伺います。また、県は金沢

港を日本海側の拠点港として世界へアピールし、観光誘致につなげたいとポートセールズに力を入れるとしています。七尾港にもクルーズ船の誘致が図られれば、活性化にもつながると思います。不嶋市長 観光客を市内に呼び込むために、旧中央図書館周辺整備やまちなか観光の推進、能登島

ガラス工房の改築など、七尾の魅力を引き上げるような取り組みを進めていこうと思っています。ハード、ソフト両面にわたり、官民力を合わせて取り組んでいきたいと思っています。クルーズ船については、平成26年度中には、矢田新地区の耐震強化岸壁の供用が開始されます。こうした機会を好機と捉え、県や地

元経済界、関係団体などと連携して、クルーズ船の誘致に努め、七尾港を核にした周辺エリアのにぎわいの創出、交流人口の拡大につなげてまいります。

その他の質問項目

- 農業振興策
- 下水道整備の進捗と今後の整備方針



クルーズ客船「飛鳥II」

地産地消の促進、食料の自給率のアップについて

久保 吉彦 議員(無会派)



久保議員 食の安心・安全の観点から、生物の多様性を生かした有機農業の普及に努められないか。また、地場特有の能登野菜、いきいき七尾魚を再認識し、地産地消の促進をどのように図っていくのかを伺います。

小川産業部長 本市では、化学肥料や農薬の使用を5割以上減らし、生き物と共生する環境保全型農業に取り組む農業者が増えてきています。化学肥料や農薬を使用しない有機農業については、取り組みが少なく、普及が難しい状況です。世界農業遺産に認定された能登の食の価値や安全安心を積極的に発信することで、有機農業を含めた環境保全型農業に関心が高まり、普及促

進を図れると考えています。地産地消の促進については、能登野菜育成七尾鹿島協議会において、市民への消費拡大と周知のため、保育園児を対象とした栽培体験や小学生を対象とした料理教室への食材提供、スーパー等での直販、試食などの周知活動を行います。地産地消を推進していきます。平成24年度にはレジピ集を500部作成し、能登野菜を販売する店舗などに配布。調理方法の周知

による販売促進を図りました。また、いきいき七尾魚については、七尾能登島定置網漁業振興会で、ホームページやお魚さばき方教室、各種イベントなどにおいて、市内外へPR活動を行い、地産地消を推進していきます。

その他の質問項目

- 世界農業遺産



お魚さばき方教室

若者のUターン就職について

高橋 正浩 議員(礎)



高橋議員 都会における就職活動は大変厳しいものになっていきます。こうした中、少しずつ七尾に帰って就職したいと考える学生も出てきています。一人でも多くの学生を受け入れるため、市独自の就職セミナーを開催している

のか。また、地元企業の若手社員などと学生の交流やフェイスブックなどを利用した企業情報の発信や学生と地元企業の交流などの企画を行えないか見解を伺います。小川産業部長 独自の就職セミナーは開催していません。現在、県及び能登四市四町で構成している能登地域活性化人材確保推進実行委員会が就職フェアを開催し、ハローワークでは企業ガイダンス

を行っています。市としては、県やハローワークと連携し、就職相談会に多くの学生に参加してもらえよう協力していきます。また、企画を行えないかですが、学生を呼び戻すためには、域内企業と学生との交流や企業情報の発信などは効果的な方法の一つと考えられます。現在、七尾留学推進協議会が大学生の長期職場体験などのインターンシップを通して地元企業への

その他の質問項目

- まちづくり基本条例
- 世界農業遺産

就職や起業に結びつけています。また、ホームページでは県内外の大学生に受け入れ企業の情報などを発信しています。今後は、学生や企業のニーズの把握など、行政のかかわりや支援について研究していきます。



ジョブカフェ石川能登サテライト

博物館整備構想について

松本 精一 議員(礎)



松本議員 今定例会で博物館建設構想策定事業費350万円が計上され、今年度中に構想を策定するということでした。構想策定に当たっての委員会の規模、メンバーについて伺います。また、分野別資料は何点ほど保有して

おり、どこで保管しているのか伺います。また、提案ですが、建設地は能登歴史公園地内で計画してはどうか。併せて、少年科学館も隣接もしくは併設出来ないか伺います。北谷教育部長 構想策定委員会は、有識者、各種団体推薦者、そして市民から成る公募者など20人以上の組織を考えています。また、市で保有しているのは、縄文土器などの遺跡出土品がパンケースで

2,500箱、古文書などの各種文献が約4,900点、農具、漁具などの民俗資料が約5,000点、そして動物の骨格や植物標本、自然史資料等が10万4,000点です。保管場所は、遺跡出土品と民俗資料は、旧七尾商業高校校舎、現在の鵬学園施設です。各種文献は、旧中央図書館、そして自然史資料は能登島市民センターです。建設地は、構想策定委員会から提言をい

ただき、関係各位に諮り決定します。また、少年科学館についても、構想策定委員会で検討していただきたいと考えています。

その他の質問項目

- 世界農業遺産国際会議
- 能登和倉万葉の里マラソン
- 旧西岸小学校の活用策
- なかじま亭



市で保有している農具